



さやまっ子 小中学生 いじめ防止サミット

2月9日(土)、市立小中学校全23校の児童生徒の代表が市議会の議場に集まり、いじめ防止に向けたサミットを開催しました。



サミットでは、柏原中学校生徒会から『さやまっ子は、いじめや差別を、しない、させない、許さない。』とする「さやまっ子の誓い」が議案として提出されました。各学校であらかじめ協議してきた意見が出され、審議の結果「小学生でも分かるようにふりがなをふる」との修正案を採択しました。その後、堀兼小学校と入間野中学校から、いじめ防止に向けた学校の取り組みが紹介されました。

このサミットを契機に、各学校でいじめや差別の防止に向け、これまで以上にさまざまな取り組みを行っていきます。

御狩場小学校「夢と笑顔の陸上教室」



2月14日(木)に全校児童が参加し、御狩場小学校の卒業生である猪浦舜選手が所属する八千代工業陸上競技部の協力により初めて開催しました。実業団日本一を決めるニューイヤー駅伝に出場した同陸上競技部へ、在校児童が応援メッセージビデオを贈ったことがきっかけで、実現しました。

当日は、猪浦選手を含む8人の選手が指導を行いました。低学年には力みをなくすため、卵を持つようにして走るよう指導し、高学年には、早く走るためには弾む力が必要であることや、正しいフォームを身に付けることが大事であると、より専門的な指導を行いました。そして、陸上教室の後は選手と児童と一緒に給食を食べて、交流を深めました。

参加した児童からは「今日教わったことを生かして、速く走れるようになりたい」などの感想が聞かれ、走ることの楽しさを感じていたようです。

つくって、あそんで、たのしんで

2月16日(土)／家族ふれあい講座「ダンボールとなかよし」(堀兼公民館)



段ボールを使って創意工夫し、おもちゃを作る講座に親子10組が参加。ぶんぶんごまやビー玉迷路などを親子で作って遊び、家族の絆がより深まりました。

地元野菜をおいしくいただきます

2月6日(水)／キムチ作り(柏原公民館)

地元柏原産の白菜と大根などの野菜を使って、本格的なキムチ作りに10人が挑戦。キムチの素を混ぜると、食欲をそそる香りが室内に広がりました。



29年度さやま市民大学地域ジャーナル講座の修了生がお届けします

さやま・レポート 狭山ステキ発見⑩



水富地区の笹井白鬚神社は、笹井村(現笹井地内)の旧村社で、その建立は15世紀以前に遡るといわれています。同神社の元旦祭や例大祭(4月と10月の第3日曜日に開催)に奉納される「笹井豊年足踊り」は、幕末から明治初期にかけて当地の住人が苦心を重ねて創作したと伝わっています。4月の例大祭は農作物の豊作を祈願して、10月の例大祭は豊作を祝い奉納されることから、豊年足踊りと呼ばれるようになりました。

豊年足踊りは、一人の演者が仰向けになり、両足を高く上げ、左足の甲にヒョットコの面、すねに男物の衣装、右足の甲にオカメの面、すねに女物の衣装を付けて、男女のさまざまな仕草を演じます。笹井囃子の笛や太鼓、鉦の奏でる軽快なリズムに合わせて、両手で扇や日傘を操りながら踊る足の演技は見事です。

ぜひ、歴史ある神社を訪れ、伝統文化を一目見てはいかがでしょうか。

◆笹井豊年足踊り(市の無形文化財に指定)
場所 笹井白鬚神社(笹井1962番地) 問合せ 社会教育課へ内線5675

みやび 雅な音色でリラックス

2月16日(土)／お箏体験(広瀬公民館)

「お箏の美しい音色を奏でてみたい」という声に応え実現した講座に、12人が参加しました。箏の歴史や弾き方を学び、「さくら」など3曲に挑戦。全員の声が一つになったとき、会場は雅な世界に包まれました。

鼻歌で音とリズムを取ること、よりスムーズに弾くことができました



歴史と伝統を紡ぐ甘酒祭り

2月10・11日(日・祝)／梅宮神社の甘酒祭り(上奥富)

埼玉県の無形民俗文化財に指定されている甘酒祭り。11日の大祭では、参道に露店が並び、寒空の中参拝者には甘酒が振る舞われ、一口飲むと寒さでこわばっていた表情が緩み、心も体も温まりました。



▶10日の宵宮では「座揃式」が行われ、厳かな雰囲気の中、謡いがあげられました



身近な施設で芸術文化に触れる

2月7日(木)～11日(祝)／狭山市収蔵美術品展(市民交流センター)

博物館など市内の公共施設に展示・収蔵されている、日本画と洋画の二人の巨匠、横山大観と藤田嗣治の作品をはじめとした芸術作品28点を展示しました。来場者は、ガイドブックの解説を見ながら作品を鑑賞。芸術性の高い作品への理解を深めていました。



鈴木至夫氏をはじめ、狭山市ゆかりの芸術家の作品も展示

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

新聞紙の豆で「鬼は外！」

1月31日(木)／節分子ども会(狭山台南保育所)

年長児22人が、節分を前に豆まきを行いました。子どもたちに日本の伝統行事を楽しみながら学んでほしいと、保育所が開園した40年程前から続けています。新聞紙を丸めて作った豆を鬼に扮した先生に力いっぱい投げつけ、一年間の無病息災を願いました。



アレルギーの発症や誤飲などを避けるため、新聞紙を丸めた豆を使っています

作品のルーツに触れる

2月19日(火)～23日(土)／吉野弘展と講演会(中央公民館)

狭山市ゆかりの詩人・故吉野弘さんの作品展示と講演会を開催。他界して5年、作品は現在もなお、多くの人々に感銘を与えています。23日に行われた久保田奈々子さん(吉野さんの長女)の講演会では、吉野さんの狭山市への想いが語られ、狭山を愛した詩人の足跡をたどりました。



会場には詩集なども展示

